

R6年度

学校評価アンケートについて

冬休み前に実施した「① 松恵小学校教育活動に関する保護者アンケート」と「② 学習についての児童アンケート」の結果です。どちらのアンケートとも、多くの項目で昨年度よりも高い評価が得られました。子どもたちの頑張りの成果であると、嬉しく感じています。アンケート結果から今年度の学校運営について検証し、次年度の学校運営計画や教育課程の編成に反映して参ります。

① 松恵小学校教育活動に関する保護者アンケート（12月実施）

A: 達成できている B: おおむね達成できている C: あまり達成できていない D: 達成できていない

回答数 59 回答率 85.3%

分類	評価項目	A	B	C	D	平均	昨年	比較
I 学 校 経 営 に つ い て	① 学校は、学校経営（学級経営）の方針や重点をわかりやすく伝えている。	50.8%	47.5%	3.4%	0.0%	3.5	3.1	↑
	② 学校は、各種お便りやホームページなどで、活動の様子を積極的に伝えている。	57.6%	40.7%	3.4%	0.0%	3.6	3.4	↗
	③ 学校は、確かな学力を保障するため、適切な学習指導を行っている。	40.7%	52.5%	8.5%	0.0%	3.4	3.2	↗
	④ 学校は、豊かな心をはぐくむ教育を適切に行っている。	35.6%	47.5%	18.6%	0.0%	3.2	3.1	↗
	⑤ 学校は、マナーやルールを身につけさせる教育を適切に行っている。	37.3%	50.8%	13.6%	0.0%	3.3	3.2	↗
	⑥ 学校は、一人一人に寄り添った生徒指導を行っている。	30.5%	55.9%	13.6%	1.7%	3.2	3.1	↗
	⑦ 学校は、地域や社会と連携し、開かれた教育を行っている。	52.5%	42.4%	6.8%	0.0%	3.5	3.1	↑
II お 子 さ ま に つ い て	⑧ お子さんは、見通しを持って学習や生活に取り組もうとしている。（かんがえる子）	8.5%	62.7%	27.1%	3.4%	2.8	3.0	↘
	⑨ お子さんは、自分の学習や生活を振り返り、次に生かそうとしている。（かんがえる子）	10.2%	59.3%	28.8%	3.4%	2.8	3.0	↘
	⑩ お子さんは、課題を解決するために、自ら考えようとする態度が身につけている。（かんがえる子）	11.9%	62.7%	27.1%	0.0%	2.9	2.8	↗
	⑪ お子さんは、経験したことや学んだことを自分の言葉で伝えることができる。（かんがえる子）	25.4%	52.5%	22.0%	1.7%	3.1	3.0	↗
	⑫ お子さんは、相手の身になって考え、行動しようとしている。（やさしい子）	28.8%	59.3%	13.6%	0.0%	3.2	3.1	↗
	⑬ お子さんは、相手や場面に合わせ、正しい言葉遣いで、礼儀正しく行動しようとしている。（やさしい子）	15.3%	67.8%	16.9%	1.7%	3.0	2.9	↗
	⑭ お子さんは、年齢相応の社会性や協調性を身につけている。（つよい子）	25.4%	55.9%	20.3%	0.0%	3.1	3.1	→
	⑮ お子さんは、自分の目標を持ち、達成に向けて粘り強く取り組もうとしている。（つよい子）	20.3%	64.4%	16.9%	0.0%	3.1	3.0	↗
	⑯ お子さんは、生命や健康の大切さを理解し、それが言葉や行動に表れている。（げんきな子）	35.6%	55.9%	10.2%	0.0%	3.3	3.4	↘
	⑰ お子さんは、元気に体を動かして遊んだり、積極的に運動したりすることができている。（げんきな子）	55.9%	30.5%	15.3%	0.0%	3.5	3.2	↑

「平均」は昨年度と比較するために A=4...D=1 と回答を数値化し、合計した値を回答数で除した値です。

3.5以上を
本校のよさや強みとして赤で
2.9以下を



「比較」は昨年度と比較し、数値が
向上したものを↑または↗ (0.3ポイント以上) の矢印と赤系統の背景色で、
変化しなかったものを→の矢印と緑の背景色で、
下降したものを↘または↓ (同0.3ポイント以上。今年度は該当無し) の矢印と青系統の背景色で示しています。

【記述欄へのコメント概要】

- ・少人数制や縦割り活動の効果への肯定的な意見。子どもたちの様子や職員への肯定的なコメント。
- ・「特色ある活動を増やしてほしい。」「かつての行事を復活させてほしい。」「地域との連携を積極的に行ってほしい。」という要望。
- ・子どもへの関わり方について。 などの意見や要望がありました。

② 学習についてのアンケート（児童による自己評価）

①:よく当てはまる ②:当てはまる ③:あまり当てはまらない ④:ほとんど当てはまらない

番号	質問内容	選択	昨年度	今年度	昨年度グラフ	今年度グラフ	比較
1	学習用具をきちんと準備できた。	①	33.3%	56.1%			↑
		②	52.4%	37.8%			
		③	11.9%	3.7%			
		④	2.4%	2.4%			
2	授業中の約束やルールを守れた。	①	50.6%	50.0%			→
		②	31.3%	37.8%			
		③	16.9%	11.0%			
		④	1.2%	1.2%			
3	ノートの書き方の約束を守って、ノートを使うことができた。	①	69.0%	74.1%			↗
		②	21.4%	22.2%			
		③	8.3%	2.5%			
		④	1.2%	1.2%			
4	目標をもって学習に取り組めた。	①	38.1%	50.0%			↑
		②	46.4%	41.5%			
		③	9.5%	6.1%			
		④	6.0%	2.4%			
5	粘り強く学習に取り組めた。	①	39.3%	61.0%			↑
		②	40.5%	31.7%			
		③	13.1%	4.9%			
		④	7.1%	2.4%			
6	授業中、ペアやグループで相談したり話し合うときに、自分の考えを持つことができた。	①	48.8%	53.7%			↗
		②	39.0%	34.1%			
		③	11.0%	9.8%			
		④	1.2%	2.4%			
7	授業中、意見や考えを伝え合うことができた。	①	39.0%	59.8%			↑
		②	45.1%	30.5%			
		③	15.9%	6.1%			
		④	0.0%	3.7%			
8	授業中に、考える、発表する、練習問題に取り組む、作業をする時間があつた。	①	48.2%	56.1%			↑
		②	33.7%	36.6%			
		③	14.5%	6.1%			
		④	3.6%	1.2%			
9	授業中に、自分の考えをまとめたり、友だちの考えを参考にするために、クロムブック(学習者用端末)を使うことがあつた。	①	*	26.8%	今年度から設定		→
		②	*	42.7%			
		③	*	28.0%			
		④	*	2.4%			
10	家庭学習や宿題を毎日きちんとできた。(学習時間の目安は学年×10分+10分)	①	58.5%	47.6%			↘
		②	25.6%	24.4%			
		③	11.0%	15.9%			
		④	4.9%	12.2%			
11	授業はわかりやすかつた。(先生からの質問や説明など)	①	52.4%	63.4%			↑
		②	32.9%	32.9%			
		③	12.2%	2.4%			
		④	2.4%	1.2%			

グラフの**青色**が最も良い評価を選んだ割合を表しています。ここが増えているという事は**成果が上がっている**という事です。
青色と赤色を合わせた割合が、その項目をポジティブに捉えている割合です。



「**比較**」は昨年度との比較です。
青色の範囲が広がり、**成果が上がっているものは上向き**の矢印、あまり変化が無いものは横向き矢印、評価が下がっているのは下向き矢印で表しています。



保護者アンケートへの回答

本校の教育への、日々のご理解とご協力に感謝申し上げます。また、学校改善に向けた保護者アンケートに多くのご回答を賜り大変ありがたく存じます。

職員の努力や日々の指導、子どもたちの頑張る姿や挨拶のよさ、小規模校ならではの学年を越えて子どもたちが関わり合う様子に肯定的なご意見をいただいた事を大変嬉しく思います。

一方で、行事の在り方や子どもへの関わり方について厳しい意見や改善要望もいただきました。

松恵小学校は公教育の場として法律に基づいて運営されており、全ての児童に対して平等かつ公正で質の高い教育を提供することを目指しています。そのため、教育活動については様々な条件の下、PDCA サイクルに基づき全体のバランスを考慮しながら見直しと改善を重ねております。

時代の要請に応えられるよう、また、教育の質を維持しつつ全ての児童に平等に資源を分配するという公教育の理念に沿った教育を進めているところです。「人」「物」「場所や環境」「予算」「時間」といった限られたリソースを最大限に活用し、松恵小の子どもたちが健全に成長できる環境を整えるためには、どうしてもこれらの調整が必要となります。

私たち教職員一同は、子どもたち一人一人の個性や能力を尊重し、彼らが最大限の可能性を發揮できるよう支援しています。一人一人の興味や関心を理解し、現在の状況や課題を全職員で共有しながら、個々の学びを深めるために、細やかなサポートと指導を行っております。全ての児童が安心して学び、成長できる環境を提供することを、私たちは常に心がけております。とりわけ、小規模校の特徴を活かし、学年を越えて児童同士が互いに関わり合う場面を大切にしています。年上の児童が年下の児童を支援し、また年下の児童が年上の児童から学ぶことで、豊かな人間関係とコミュニケーション能力を育てていくことができます。このような学びの場を通じて、全ての児童が社会性を身につけ、協力し合う精神を育てることを目指しています。

さらに、ユネスコスクールとして平和を愛する心情を育むとともに、緑の少年団として環境保護を目標とした取組に地域と連携して取り組んでおります。全ての教育課程に ESD（持続可能な開発のための教育）を関連付け、小学校での学びを通して子どもたちが実際の社会問題に取り組みながら成長する機会を提供しています。

全校での林間学校や遠足は、全校縦割りでの緑のフィールドワーク、5 学年での林間宿泊学習に形を変え、新たな活動としてのスタートを切りました。活動の趣旨は変えること無く、持続可能で充実した学びの機会となるよう尽力して参ります。

保護者や地域への情報発信不足や説明不足のご指摘もございました。松恵小ならではのよさや、学校の工夫が多くの方に伝わるよう一層努力して参ります。

これからも、児童一人一人が社会に貢献できる人材として成長できるよう、全力で教育活動に取り組んで参ります。よりよい学びの場となるよう、保護者や地域の皆様にも、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

